

指定校番号	28069	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立戸坂中学校	校長	丹 孝子	生徒指導主事	奥村 聡
-----	-----------	----	------	--------	------

**取組事例名 『生徒が輝く文化祭』**

**取組のねらい『キーワード 文化祭を成功させよう』**

生徒が主体的に活動できる活躍の場を様々な場面で設定することにより、自己有用感や達成感を得られるようにする。また、落ち着いた雰囲気の中で文化祭に臨み、他学年や他クラスの発表を静かに聞くことができる鑑賞態度を身につけさせる。

**取組の具体的内容『キーワード 活躍の場の設定』**

○文化図書委員会を中心にして 2016 年度文化祭の『スローガン』決定。

決定したスローガンを全クラスでポスターにし校内に掲示。



○縦割り学級による合唱交流会。

3年生の文化図書委員が司会進行をし、学年間での交流を行う。会場は体育館・第1音楽室・第2音楽室の3か所で行う。交流後は各クラスの指揮者が講評を述べる。



○文化祭ステージ発表の行われる前、1週間にかけて着ベル・身だしなみの2点に関してチェックを行う。

着ベル点検 - 代議員会 (各クラスの代議員が点検する)

点検時間…1時間目開始時～6時間目開始時まで。文化祭のステージ発表の部においては、全3回の休憩終了後に行う。

集計方法…その日の着ベル点検結果は、その日の6時間目の終了直後に代議員が点検表(事務室前)に記入する。

身だしなみ点検 - 保健体育委員会 (各クラスの保健体育委員が点検する)

点検時間…朝学活。文化祭のステージ発表の日は、開会式の前に一斉に行う。

集計方法…その日の身だしなみ点検結果は、その日の6時間目の終了直後に保健体育委員が点検表（事務室前）に記入する。

### 取組の課題・創意工夫 『キーワード すべての委員会で文化祭をつくりあげる』

縦割りの合唱交流会を、司会進行を文化図書委員会、講評を学級の指揮者とし、交流会の運営全体を生徒主導で開催した。

また各委員会が文化祭にそれぞれ主体的に取り組めるように、役割の分担をした。「時間を守る」意図の着ベルは代議員会、「容儀を整える」意図の身だしなみは保健体育委員会、文化祭会場を含めた美化整備は美化委員会、というようにそれぞれの委員会ごとに分けた。

点検活動においては、概ね委員会の生徒が判断したが、いくつかのケースで判断をできないことがあり、担任や教科担任の手助けが必要であった。また、身だしなみの点検においては遅刻者の扱いで判断に迷う部分があったので、今後はそのあたりのところもあらかじめ明確にしておく必要がある。

### 取組の成果（効果） 『キーワード 生徒同士の働きかけ』

縦割りの合唱交流会では、文化図書委員の生徒だけではなく3年生が交流会をスムーズに進行するようにリードした。上級生は下級生の見本となるべく意識を高め、下級生は上級生の姿や歌声から学ぶべきものを見出すよい機会となった。

合唱コンクール当日、休憩後の集合・着席が委員会を中心とした生徒の声かけにより比較的スムーズにできた。ほとんどのクラスで代議員が中心となり生徒同士の積極的な働きかけができていたと思う。

「時間を守る」ということにおいては多くの生徒が意識をし、実行に向け努力していた。また、「容儀を整える」ことについては、最初の呼びかけから最終目標をステージ発表のステージ上であることを意識させ、クラスの中の生徒同士がお互いを点検し合い、できていない生徒に声をかけるといった生徒同士の働きかけができていた。

### 今後の展開 『キーワード 生徒主体での活動を増やす』

学校生活における様々な場面で取り組みが活かされるように生徒主体で活動する場面を増やしていきたい。教員主導ではなく生徒のほうからの呼びかけで、今まで以上に全体が意識をして動いていけるようになればいいと思う。また、学年ごとに集まる機会も同様に、身だしなみを正すことも含めて生徒による呼びかけを中心にして進めていけるようにしていきたい。そしてそういう機会を増やすことによって、リーダーシップのとれる生徒を育てていきたい。

3年生は卒業式を、1・2年生は修了式を今年度のゴールととらえ、何らかの形で達成感を感じることができるよう指導していきたい。

### 他校へのアドバイス 『キーワード ゴールを意識した取り組み』

他校にアドバイスできるようなことは特にないが、本校では自己有用感や達成感の向上を目指し、「文化祭の中で、どれだけ生徒が活躍できる場を設定できるか」という発想からこの取組が始まった。

縦割り合唱交流会では3年生がリーダーシップを発揮し自信を持つことができたし、1・2年生については自分たちが目標とすべき姿を目の当たりにできたこともよかったと思う。

文化祭というと、どうしても生徒の意識の中にお祭りのような気分があるため、「時間を守る」ことや「容儀を整える」ことについて1週間前からの意識付けを目的に始めた。取組期間からすでにコンクールが始まっているという意識を持った生徒が多数いて、しっかりとゴールを意識させることができたのは良かったと思う。